



松の湯
交流館

10月からのイベント情報 松の湯交流館企画・協力

まきまき、ペタペタおぼけをつくろう

10/1(木)~31(土)

ピンに包帯を巻いたり和紙を貼ったりしておぼけの小物入れを作ります。キャンドルライトをいれたりするとおぼけランプになったりとアレンジ自在。ハロウィン気分を盛り上げる楽しいイベントです。



第1回ストレスが楽しさに変わる個性心理学講座

10/8(木) 18:00~ 講師:しばたけんじさん

自分自身の個性を知ること、育児や事業成功へ向けた「オリジナルの成功法則」を見つけ出すことができます。人間関係などからのストレスをなくし、様々な場面で活用できる方法を見つけましょう!

おつきみコンサート

10/24(土) 開場18:00開演19:00 出演:HIROMASAさん

お月見の日にお団子をたべながら響き渡る笛の音色を聴いて、ゆったりとした心地良い時間をみんなで楽しめます。お気軽にご参加ください。主催:横町十文字まちそだて会
チケット:小・中1000円、高・大人2000円(お団子・ワンドリンク付き)



りんごモチーフがかわいい! こぎん刺し体験

11/14(予定)

津軽の伝統工芸、こぎん刺しを体験!りんごをモチーフとしたかわいい雑貨が作れます。こぎん刺しを体験したことがある方も初めての方も大歓迎です。

自分だけのシルバークセサリーづくり

11月下旬

銀ねんどを使ったオリジナルリングを作ります。自分だけのアクセサリを作ってみよう!

つくって楽しい! クリスマスリースづくり

12月初旬

クリスマスリースをつくってクリスマスを楽しもう! 手作りのリースをお部屋に飾って、あったかいクリスマスにしませんか?



写真はイメージです

参加申込・お問い合わせは松の湯交流館まで
tel.0172-55-6782 fax.0172-55-6783

※イベント内容は変更になる場合があります。

松の湯レター vol.6

生まれ変わった松の湯から お届けします。

- 松の木便り : 7月~9月に行われたイベント紹介
- トピックス : 集いの蔵に「十文字カフェ」オープン
- 松の湯コラム : 東京黒石会
- 施設紹介 : 黒石インフォメーション
- 開館記念特集 : 松の湯交流館開館記念 座談会
- イベント情報 : 10月から開催のイベント

松の湯レター Vol.6

発行日: 2015年9月30日

発行: 黒石市

企画: NPO法人まちそだてデザインサポート

編集・制作: NPO法人横町十文字まちそだて会

Vol.6から「松の湯レター」が生まれ変わりました。今までは、NPO法人まちそだてデザインサポートの皆さんが「風の人」の視点で地元「土の人」へ松の湯の様子を伝えてきました。7月16日新たな声あげた松の湯交流館。これからはNPO法人横町十文字まちそだて会が「土の人」として「風の人」へ向けて伝えていきます。これまで「松の湯レター」に携わってきたたくさんの方々の想いを受け継ぎ、魅力あふれる紙面を目指します。どうぞよろしくお願いいたします。次号もお楽しみに。(端田)

松の木便り



松の湯交流館では、自主企画のほかにグループ・団体の活動や発表などで、常時さまざまな催しを開催しています。今まで催されたワクワクなイベントを、松の湯レターでご紹介します。

松の湯交流館オープニングセレモニー



松の湯交流館オープンを記念してオープニングセレモニーが開催されました。テープカットや横笛演奏者HIROMASAさんによる演奏、集いの蔵でのお惣菜やマレーシア料理等の販売などが行われ、大賑わいの一日に。ここからまた「松の湯」が新しく歩みはじめます。
●開催日: 7/16 ●主催: 松の湯交流館

こみせ通りにこんな建物あったらいいなコンテスト



「こみせ通りにこんな建物があったらいいな」をテーマに地元の小学生が描いた絵を展示。力強く丁寧に描かれた絵はどれも黒石にエネルギーを与えてくれるようなものばかりでした。子ども達もまちが賑わっていくことを願っています。
●開催日: 7/18~26、9/12・9/13
●主催: 青森県建築士会南黒支部

マンドリンミニコンサート&コープ商品試食会



コープあおもり主催のミニコンサートと試食会が行われました。マンドリン奏者の古川里美さん、ギターの前正治さんを招き演奏が行われ、お客様はゆったりとした時間を楽しまれました。演奏が終わると、コープ商品の試食会が行われたいへん賑わっていました。
●開催日: 8/25 ●主催: コープあおもり

みんなで地元グルメを応援! 金魚ねぶたづくり



十和田で開催されるB-1グランプリに出場する地元グルメのつゆやきそばを応援するため、市民のみなさんと金魚ねぶたをつくりました。「黒石に遊びに来てね!」など市民の皆さんのメッセージがかかれた金魚ねぶたは、B-1グランプリに来てくれた方にプレゼントされます。
●開催日: 9/12・13 ●主催: 松の湯交流館

大正琴オータムコンサート



大正琴で懐かしい曲をアンサンブルで演奏されました。ギターと大正琴の合奏も行われ、お客様は庭園を眺めながら演奏を聴いたり心地よい時間を過ごされました。外にも綺麗な音色が響いていました。
●開催日: 9/12 ●主催: 松の湯交流館

黒石まちなか調査団



~まちなかのオモシロイところを激写せよ!
黒石のまちなかのオモシロイところが問題になり、その答えを写真に撮ってくる謎解きイベント。とあるお店のカメや昔のまちなかの名残が問題になっています。参加した方からはこんなところあるんだ、初めて知った!などの声もあり、楽しんでいました。
●開催日: 9/12・13 ●主催: 松の湯交流館

松の湯交流館は使い方がいい!

イベント・コンサートの他にも会議や集会など活用方法はさまざま。詳しくはお電話、または交流館スタッフまでお気軽にお尋ねください。

TOPICS

松の湯交流館併設の蔵に「十文字カフェ」オープン!

駐車場側に隣接する「集いの蔵」が、9月19日カフェとして生まれ変わりました。普段はお目にかかれないアジア料理や手作り雑貨、高地野菜などを品揃え。フードやドリンクは、テイクアウトで交流館に持ち込んでもOK。ぜひご利用ください。



お知らせ

「松の湯」の情報をお寄せください。

もともと銭湯だった「松の湯」は、ある時代では床屋や駄菓子やを同時に営んでいたといわれています。その時代の写真などありましたら、交流館まで情報をお寄せください。



昭和7年当時の松の湯

松の湯コラム ①

MATSUNOYU COLUMN



松の湯レターでは、毎回さまざまな方に寄稿をしていただき、コラムとしてご紹介します。第1回目は松の湯交流館の開館に合わせて素敵なお壁時計を寄贈していただいた、東京黒石会の中村節子さんです。

東京黒石会45周年に・・・

東京黒石会 会長 中村節子

はるか津軽の黒石は、わが青春のふるさとです。浅瀬石川も、岩木山も、えぞ館も・・・

東京黒石会は、1971年4月7日首都圏に住んでいた有志の方々によって設立されました。総会に始まり旅行や新年会。「しばらくだのー」「元気でらが」と声を掛け合い楽しいひと時を過ごします。けの汁、ジャッパ汁、もやしの油炒め、やきそば、黒石の漬物に舌づつみをうちます。

会長になってすぐに、東京黒石会の歌を作詞された吉澤みつさんを榛名山の麓のホームに訪問した時のこと。「冷蔵庫から塩辛とってけ」と言われ開けた時、プーンと黒石の匂いがしました。塩辛の他に黒石の銘菓「干梅」も入っていました。百歳になってもなおふるさと黒石を想っているのですね。昨年1月に百四歳で永眠しました。

さて、ここ数年黒石をアピールしている黒石よされが、東京で数回行われます。レクリエーション協会の皆さんの迫力に押され黒石会も協力し、楽しんで踊っています。また今回は、松の湯交流館に津軽塗の掛時計を寄贈させて頂きました。喜んで頂ければ幸いです。

最後に「東京」と「黒石」を結びつけるもの、それは、子どもの頃に遊んだ山や川に「ありがとう」「ごちそうさま」という感謝の想いです。



特別に注文して作られ、津軽塗で四季を表した掛時計。まちそだて室のガラス窓上部に設置してあります。

松の湯交流館

〒036-0377 青森県黒石市大字中町33 tel.0172-55-6782 fax.0172-55-6783 ●休館日/夏期無休(4~11月)、冬期毎週月曜日(12~3月) ●営業時間/9:30~18:00

施設紹介 ①

くろいしインフォメーション

古き良き時代の物語が浮かんでくるような空間「黒石インフォメーション」。木箱のロッカー、体重計などつつかしいものから黒石の最新情報までユーモアあふれる仕掛けがいっぱい。そして女子浴室は当時のままで昔ながらの風景が楽しめます。そんなとっておきの場所に足を運んでみませんか？



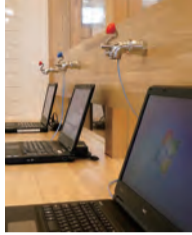
豊富な観光情報

当時の女湯の洗い場に設置されている「情報ブース」前にはこけし灯籠がお出迎え。黒石の観光パンフレットやマップがたくさん置いてあります。まち歩きツアーの情報もここでゲットできますよ。



カラから情報が溢れ出る？

洗い場の蛇口はなんとインターネットのLANケーブル。かつて銭湯は情報交換の場として親しまれてきたことから情報が蛇口から溢れるようにと遊び心いっぱいの「情報ブース」です。



当時のままの調度品など

古き良き時代の物語がここには存在しています。年期の入った木箱のロッカー、その脇にはレトロな体重計。使いこまれたタイルなど。ここにある物達は時代とともに何を感じているのでしょうか？



憧れの番台…!?

昔は銭湯に行くと番台さんへお金を渡した。番台は高く子供の頃、一回は登ってみたいと思った人もたくさんいたはず。ここには当時使用された番台があり、自由に体験できます。



自由に入って銭湯気分を味わうことができる、当時のままの湯船。子供たちの格好の遊び場です。

松の湯交流館開館記念 座談会

毎日銭湯から聞こえてくる音……。よみがえる肌と肌の触れ合いの記憶。

幼い頃からずっと松の湯に通っていた須藤さん、鎌田さん、長谷川さん。ここで初めて声をかけられて仲良しに。話しているうちにすっかり童心に帰った3人。銭湯「松の湯」の思い出を、今もそのまま残る女湯で語ってもらいました。



長谷川こづえさん
ちとせ3丁目在住。生家は浦町2丁目。現在松の湯交流館勤務。



鎌田優美子さん
竹鼻在住。生家は中町、松の湯交流館向かいにある葛西洋服店。



須藤明美さん
花園在住。生家は平成9年まで中町（現在の理右衛門小路）にあったポストン靴店。

鎌田 洗い場に土足で入るの抵抗あるなあ…
須藤 そうそう。なんか変な感じだよな。
長谷川 ここは裸でいるところだったからね(笑)
鎌田 それにしても、本当にそのままでなつかしいねえ〜。でもこんなに小さかったっけ？昔は、もっと広い感じしたけど…
長谷川 私たちが成長したからじゃない？(笑)
鎌田 そうなんだよねえ(笑)私、今でもよくこの銭湯に入ってた夢を見るの(笑)
須藤 夢!?
鎌田 そう！いつも、この浴槽に入って温まってるの(笑)
長谷川 すごい!
鎌田 でも、人がたくさんいてなかなかシャワーにありつけない夢
一同 (爆笑)
鎌田 当時は家にお風呂があってもここにきたじゃない。だから、ここは自分のお風呂と同じ感覚だったよ。
須藤 私も生まれた時から結婚するまでずっと通ってた。結婚しても、お盆やお正月など実家に来た時は子供たちも連れてきてたよ。
鎌田 私も物心つく前から…5歩でここにたてたし(笑)
長谷川 5歩!?
須藤 あ〜お向かいさんだったもんね〜(笑)
長谷川 私は、小学生からかな…
鎌田 みんな、だいたい来る時間が決まっていた夕飯前の人がいれば、寝る前に入りに入る人もいる。
須藤 そうそう！だから、知らない人でも毎日顔合わせていると隣りにいる人が「あんた、どこの人だあ？せながっこ流してけるが？」って言って、知り合いになる(笑)
長谷川 私、明美ちゃん(須藤)に初めて声をかけてもらったのここだよ。
須藤 え!?!ほんと？覚えてない…
長谷川 前から顔は知ってたけどきっかけがなければなかなか会話できないし…
鎌田 歳が離れていればなかなか話せない…だけど、お風呂だと気軽に声をかけられるから不思議だよな〜(笑)
須藤 学校でも上の学年の人には話づらいけど、ここにくればみんな一緒にかなり年配のおばあちゃんにでも普通に話せるからね〜
長谷川 まさに、裸の付き合いってこのことなん

だなあ〜って実感する(笑)
須藤 そうそう！全く知らない人とでも話ができるから、社交性が身につくところだと思う。親同士が知り合いだと一人で入っていても普通に声をかけてくれるし、背中流し合いっこもする。
長谷川 あるある！背中流しのお返し〜ってね!
鎌田 ほんと、肌と肌の触れ合い!(笑)今、温泉でもなかなか目にしなくなった感じがする…
須藤 親が「今日誰さ、せなが流してもらった？」って聞かれると「まめめの母っちゃんにやってもらった！」って答えるけどまめめの母っちゃんの名前も知らない(笑)
鎌田 どこに住んでるのかも知らない(笑)
長谷川 どこの誰なのかわからないけど、会話して背中流してもらってたよね(笑)あ〜なんか、子供の頃の記憶がよみがえってきたあ!
鎌田 お風呂からあがって、透明なリンゴジュースを飲んだ後、お向かいの惣菜屋さんに行くところでもまた同じ顔ぶれがあって会話してる(笑)

憧れの番台と優しさあふれる店主とおかみさん

鎌田 そういえば、営業中の看板って覚えてる？木の板に赤いトタンが貼ってあって、パタンパタンって二つ折りになっているやつなんだけど…
長谷川 ん〜とみ戸みたいなやつだったっけ？ガラス戸が隠れる感じの板だったよね？
鎌田 そうそう！上からぶら下がって二つ折

りになっていたら営業中で、二つ折りが開いていたら準備中みたいな…
須藤 あ〜わかった！木の板が吊ってあるんだよね。
鎌田 そう！だけど、私は二つ折りの板が開いて準備中にも関わらず、平気で板をぐぐって入った(笑)
長谷川 それでも、お風呂屋さんのお父さんもお母さんも嫌な顔は見せたことなかったよね。
鎌田 うん！うん！今、考えると無礼講だったけど嫌な顔は見たことなかったなあ。
須藤 いつも、物静かでほんわかしてた…
鎌田 私さあ、小さいころあの番台に上がりたくて、一回上がったことあるのよ〜(笑)
須藤 え〜！いいなあ…私、交流館にきて初めて番台の中見た！
長谷川 みんな、小さいころは番台にあこがれてたよね〜一回でいいから上がってみたい！見下ろしてみたいって！
鎌田 番台の景色ってやっぱりいい景色だったよ〜今でも忘れられない…

石鹸やシャンプーが飛び交う!?

鎌田 この浴槽今みればかなり深かったんだね…当時は全く気が付かなかったよ。
須藤 そう！だから、浴槽に入って正座なんてできなかったのよ〜
長谷川 子供の時は、中にあるこの段差に座って

たり、お母さんの膝の上に座ってた。
一同 うんうん!
長谷川 小さい時ってお父さんと一緒にいるから、男湯にも入ったよね。
鎌田 そうそう！お父さんに洗ってもらってお母さんの所に行くとき男湯と女湯の壁に行き来できる小さなドアがあって、そこから女湯にきていたよね。
須藤 お父さんが「終わったよ〜今からそっちいくよ」って叫べば、お母さんがドアの前で待ってたね。
長谷川 あと、「石鹸!」「シャンプー!」っていう声もよくあったよね!
須藤 すると、女湯から男湯へ「いくよ〜」っていう掛け声と同時に石鹸やらシャンプーが頭の上を飛んでいくんだよね。(笑)
鎌田 今、思い返すと結構おもしろいね〜(笑)

夜明け前、ふと目を覚ますと煙突から音が…

鎌田 そういえば、ここのお湯ってあまり熱くなくってちょうどよかったよ。
長谷川 あがっても、汗はでなかったような…
須藤 あらら〜うちはみんな汗かいて、母なんか真っ赤な顔でゆでタコになってたよ。だから、母は明るい時間帯は恥ずかしいから避けてきてたよ。
長谷川 そうかあ…でもここは冷えのお風呂だったような…
鎌田 うん！それはね、水がいいからだって聞いている。この辺みんな井戸水でお酒屋さんも使ってる水で沸かしているから冷えのお湯だって聞いた。
長谷川 そう。井戸水のいい水使って、のこず使って沸かしてたんだよね。
鎌田 今、ふと思い出したんだけど、朝5時かな？もっと早い3時、4時ころかな？外の煙突がガラガラガラガラって音が聞こえてくるの。煙突と掃除器具の金ブラシみたいな物なのかな？それを引っ張って金属のこすれる音がしてたの。夜中に目が覚めると必ずその音が聞こえてきて…
長谷川 え〜！すご〜い!!毎日?
鎌田 そう、毎日。目が覚めて聞かない日はなかったもん。ガラガラって煙突のスス落としてるんだなって…それで『煙突の掃除から銭湯の一日が始まるんだな〜』って思った。
須藤 さすが！ご近所さんでしかきけない音だね。形あるものは目で見れるけど、音はその時でしか聞くことできないから貴重なお話だよ。

(2015年9月8日 聞き手: 端田裕花)

